

河川点検など手順確認

宮坂建設
工業 地震想定し防災訓練

宮坂建設工業(帯広市西4南8、宮坂寿文社長)は26日午後1時半から、本社、札幌支社などで2006年度防災訓練



を実施した。地震発生時の連絡態勢や管理する河川などの点検手順を確認、復旧工事に向けた無人シヨベルカーを遠隔操作する実演

も行われた。

全社的な取り組みとして昨年から始め、今年で2回目。札幌支社を含む同社を含まない………無人シヨベルカーの遠隔操作実演

社、協力会社社員ら約100人が参加。帯広市近郊で震度5強、札幌市近郊で震度4の地震が発生したとの想定で実施した。

本社会議室に設けられた対策本部では、札幌支社とテレビ会議システムで被害状況などを連絡。帯広市中央公園北側広場では、無人シヨベルカーの遠隔操作実演のほか、非常食の試食、免震・耐震構造のパネル展示も行われた。

宮坂社長は「関係官庁との連携を促進し、迅速な復旧につなげたい。今後は地域の町内会なども連携できる態勢を検討していきたい」と話した。

(井上朋一)